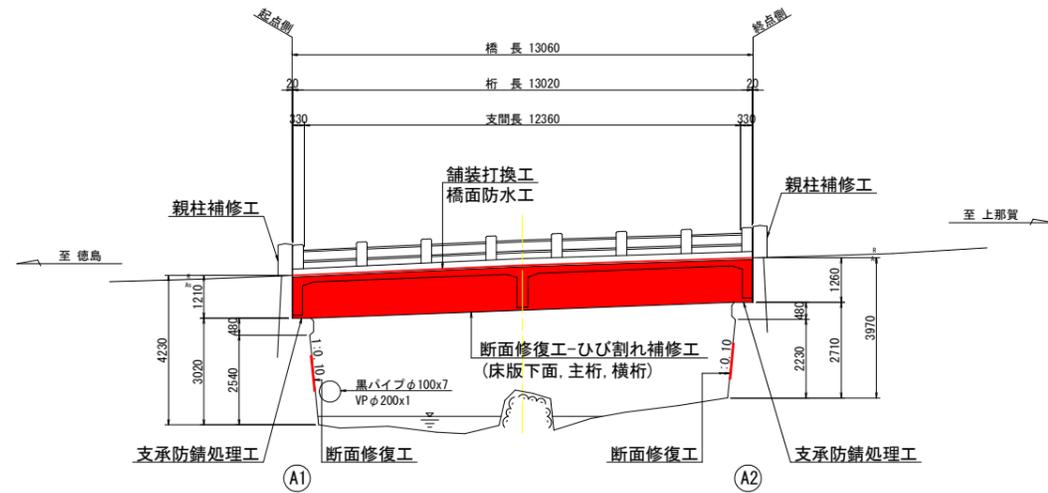
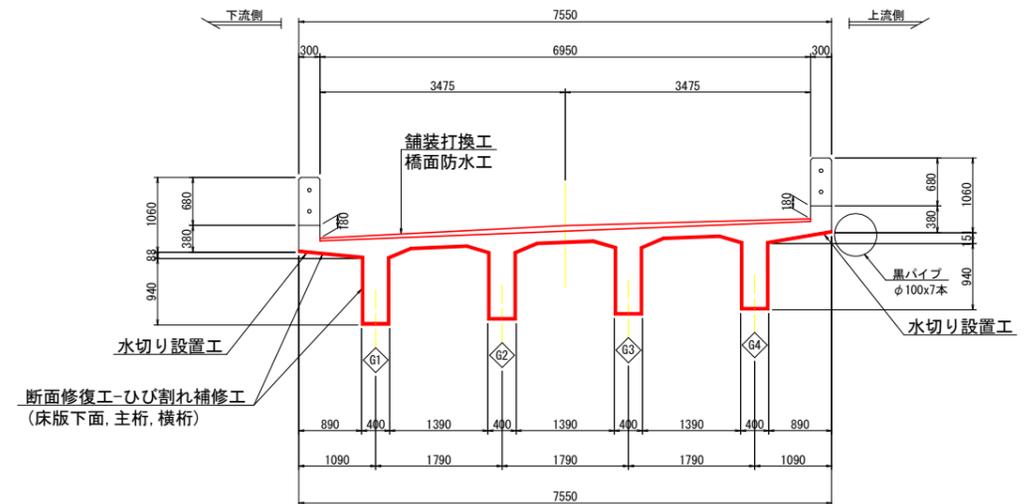


八重地橋 補修計画一般図

側面図 S=1:100

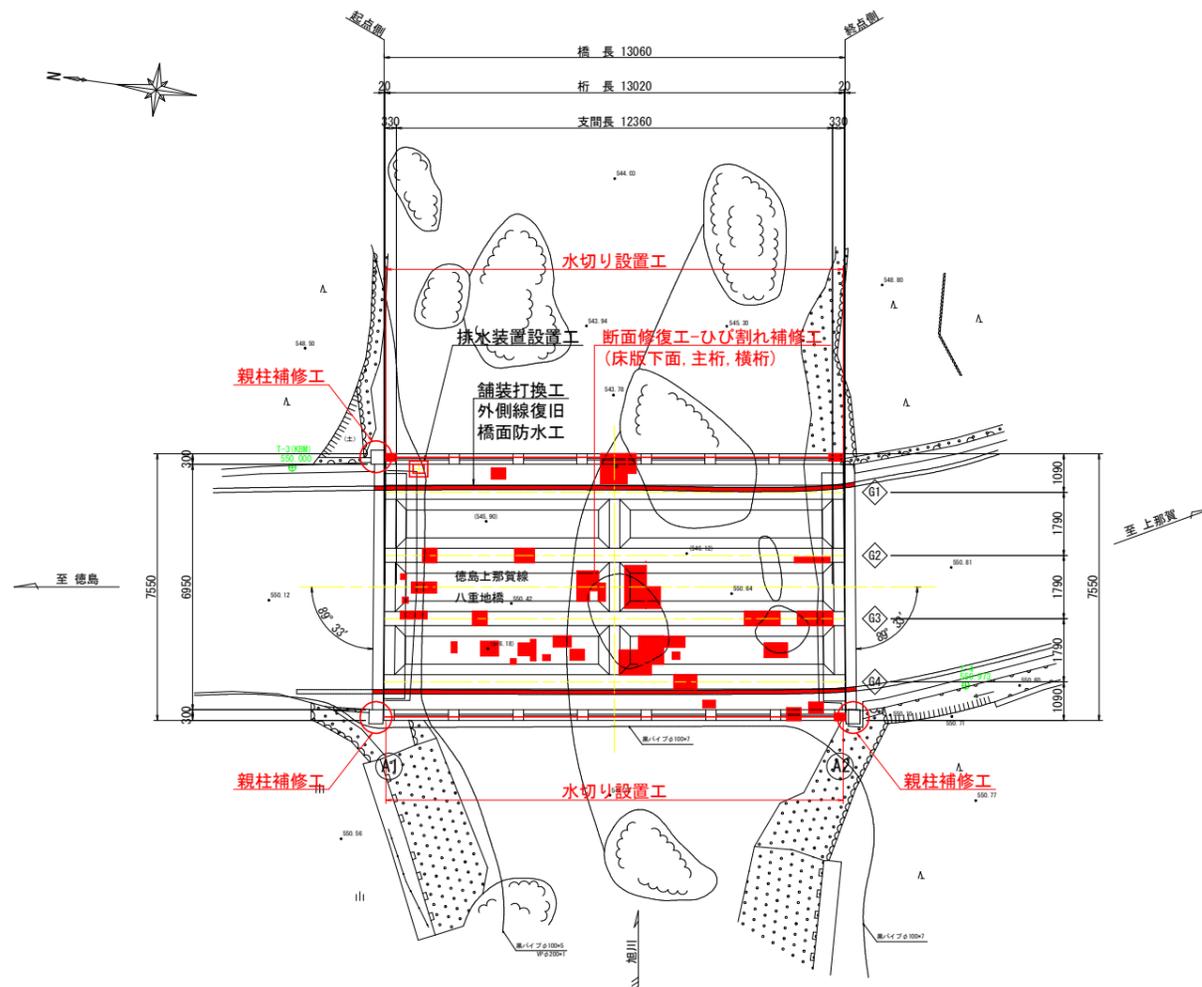


断面図 S=1:50



DL=540.000

平面図 S=1:100



八重地橋 補修工事内容一覧

工種	仕様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入, 可とう性エポキシ樹脂充填
水切り設置工	あと施工型(軟質PVC)
排水装置設置工	
支承防錆処理工	常温亜鉛めっき
舗装打換工	アスファルト舗装, 外側線復旧
橋面防水工	塗膜系防水
親柱補修工	RCブラケット設置

注記)

1. 施工前に調査を実施し, 施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は, 現場実測後決定する。

実施設計図面

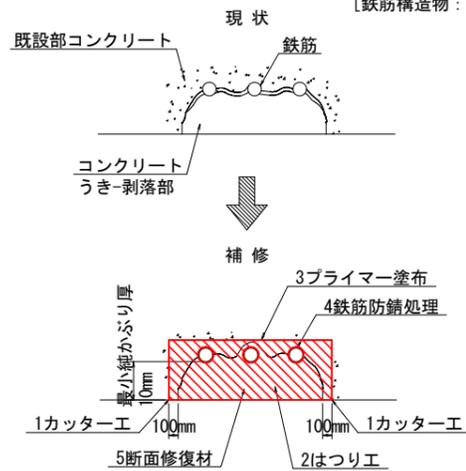
工事名	R6徳土 徳島上那賀線 (八重地橋) 上勝・旭 橋梁修繕工事 (担い手確保型) (着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭 (八重地橋)		
図面名	八重地橋 補修計画一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

八重地橋 補修工詳細図(2/5)

補修要領図

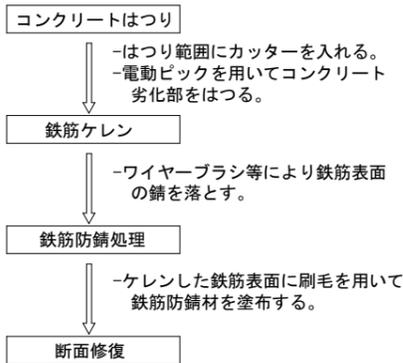
断面修復工

[鉄筋構造物：左官工法]



断面修復材量Vは下式より算出する。
 $V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$
 ここに、
 V : 断面修復材量
 W : 修復幅
 L : 修復長
 t : 修復厚
 1.18 : ロス率

施工フロー図



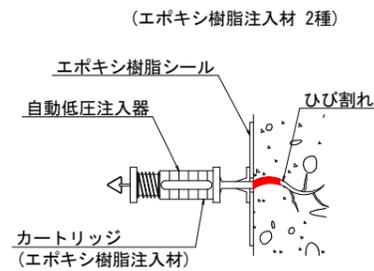
- 1) 亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20~30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいため、特に入念に埋め戻す必要がある。
- 4) 断面修復厚さは、各部材で設定している。

注記

1. 断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
2. 修復厚さは、現橋調査結果より、主桁下面：純かぶり46mm+主鉄筋φ30⇒80mm、床版、地覆：純かぶり40mm+主鉄筋φ13.4⇒60mm、主桁側面、横桁：50mm に設定している。
3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
4. 鉄筋構造物は鉄筋の裏側まではつることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い決定すること。
5. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工

[低圧注入工法]



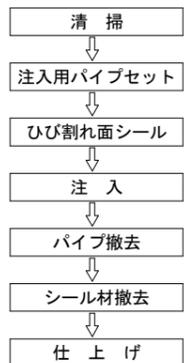
低圧注入器間隔 標準 @300

注入量Vは下式より算出する。
 $V=1200 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.20$
 ここに、
 V : 注入量
 1200 : エポキシ樹脂系注入材比重
 b : ひびわれ幅
 h : ひびわれ深さ
 L : ひび割れ延長
 1.20 : ロス率

注記

1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行い決定すること。
2. 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
3. 注入深さは、50mmに設定している。
4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

施工フロー図



ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.80	0.05	0.010	G1主桁側面
(2)	0.40	0.70	0.05	0.017	G1主桁側面
(3)	0.20	0.60	0.05	0.007	G1主桁側面
合計				0.034	

断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.17	0.40	0.06	0.004	下流側地覆側面
(2)	0.30	0.40	0.06	0.007	下流側張出床版下面
(3)	0.50	0.60	0.06	0.018	"
(4)	0.89	0.95	0.06	0.051	"
(5)	0.65	0.25	0.06	0.010	"
(6)	0.12	0.25	0.06	0.002	下流側地覆側面
(7)	0.30	0.25	0.06	0.005	下流側張出床版下面
(8)	0.30	0.25	0.06	0.005	下流側地覆側面
(9)	0.30	0.25	0.06	0.005	下流側張出床版下面
(10)	0.30	0.30	0.05	0.005	G1主桁側面
(11)	0.20	0.60	0.05	0.006	"
(12)	0.40	0.60	0.08	0.019	G1主桁下面
(13)	0.12	0.60	0.05	0.004	G1主桁側面
(14)	0.33	0.66	0.05	0.011	"
(15)	0.45	0.70	0.05	0.008	G1主桁側面※
(16)	0.17	0.70	0.05	0.003	G1主桁側面※
(17)	0.12	0.75	0.05	0.005	G1主桁側面
(18)	0.40	0.75	0.08	0.024	G1主桁下面
(19)	0.12	0.75	0.05	0.005	G1主桁側面
(20)	0.25	1.20	0.08	0.024	G1主桁下面
(21)	0.12	1.20	0.05	0.007	G1主桁側面
(22)	0.23	0.35	0.06	0.005	床版01
(23)	0.12	1.22	0.06	0.009	"
(24)	0.08	1.16	0.06	0.006	"
(25)	0.28	0.35	0.06	0.006	"
(26)	0.31	0.90	0.06	0.017	"
(27)	1.05	0.80	0.06	0.050	"
(28)	0.70	0.20	0.06	0.008	"
(29)	1.39	0.80	0.06	0.067	"
(30)	0.80	0.40	0.06	0.019	"
(31)	0.22	0.95	0.05	0.010	G2主桁側面
(32)	0.30	0.95	0.08	0.023	G2主桁下面
(33)	0.40	0.60	0.08	0.019	"
(34)	0.40	1.21	0.08	0.039	"
(35)	0.12	1.20	0.05	0.007	G2主桁側面
(36)	0.40	1.10	0.08	0.035	G2主桁下面
(37)	0.08	0.29	0.05	0.001	G2主桁側面
(38)	0.12	1.55	0.05	0.009	G2主桁側面
(39)	0.50	0.35	0.06	0.011	床版02
(40)	0.60	0.46	0.06	0.017	"

※は、A=幅×長さ×1/2

断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(41)	0.95	0.25	0.06	0.014	床版02
(42)	0.36	0.10	0.06	0.002	"
(43)	0.35	0.26	0.06	0.005	"
(44)	0.80	0.13	0.06	0.006	"
(45)	0.56	0.22	0.06	0.007	"
(46)	0.80	0.35	0.06	0.017	"
(47)	0.35	0.29	0.06	0.006	"
(48)	0.88	0.11	0.06	0.006	"
(49)	0.50	0.37	0.06	0.011	"
(50)	0.88	0.23	0.06	0.012	"
(51)	0.50	0.38	0.06	0.011	"
(52)	0.80	0.55	0.06	0.026	"
(53)	1.20	0.55	0.06	0.040	"
(54)	1.00	0.35	0.06	0.021	"
(55)	0.50	0.60	0.06	0.018	"
(56)	0.35	0.40	0.06	0.008	"
(57)	0.60	0.85	0.06	0.031	"
(58)	0.25	0.65	0.08	0.013	G3主桁下面
(59)	0.40	0.50	0.06	0.012	床版03
(60)	0.40	0.45	0.06	0.011	"
(61)	0.45	0.99	0.06	0.027	"
(62)	0.40	0.60	0.06	0.014	"
(63)	0.99	0.05	0.06	0.003	"
(64)	0.70	0.86	0.06	0.036	"
(65)	0.40	0.25	0.06	0.006	"
(66)	0.60	0.57	0.06	0.021	"
(67)	0.80	0.55	0.06	0.026	"
(68)	0.50	0.25	0.06	0.008	"
(69)	0.55	0.40	0.05	0.011	G3主桁側面
(70)	0.60	0.40	0.06	0.014	床版03
(71)	0.50	1.20	0.06	0.036	"
(72)	0.35	0.35	0.06	0.007	"
(73)	0.97	0.65	0.06	0.038	"
(74)	0.50	0.40	0.06	0.012	"
(75)	0.20	0.30	0.06	0.004	"
(76)	0.35	0.35	0.06	0.007	"
(77)	0.45	0.55	0.05	0.012	G4主桁側面
(78)	0.40	0.85	0.08	0.027	G4主桁下面
(79)	0.40	0.55	0.06	0.013	上流側張出床版下面
(80)	0.45	0.60	0.06	0.016	"
(81)	0.50	0.60	0.06	0.018	"
(82)	0.30	0.40	0.06	0.007	"
(83)	0.58	0.58	0.05	0.017	横桁G2(G1-G2)
合計				1.243	

実施設計図面

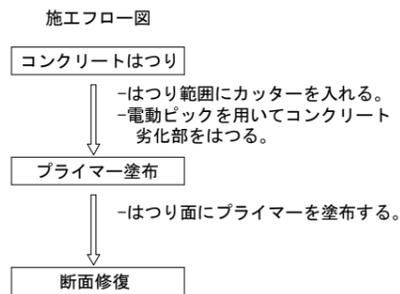
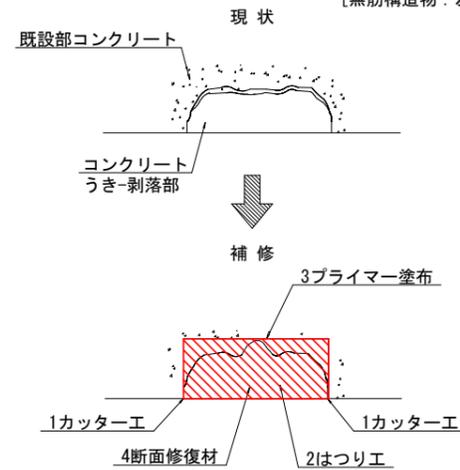
工事名	R6徳土 徳島上那賀線(八重地橋) 上勝・旭橋梁補修工事(担い手確保型)(着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭(八重地橋)		
図面名	八重地橋 補修工詳細図(2/5)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

八重地橋 補修工詳細図(4/5)

補修要領図

断面修復工

[無筋構造物：左官工法]



- 1) ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20～30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 断面修復厚さは、各部材で設定している。

断面修復材量Vは下式より算出する。
 $V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$
 ここに、
 V : 断面修復材量
 W : 修復幅
 L : 修復長
 t : 修復厚
 1.18 : ロス率

- 注記)
1. 無筋構造物の断面修復材は、ポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
 2. 修復厚さは、現橋調査結果より、下部工:50mm に設定している。
 3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

A1橋台 断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.45	0.60	0.05	0.014	A1橋台
(2)	1.06	0.20	0.05	0.011	"
(3)	1.06	0.30	0.05	0.016	"
(4)	0.54	0.47	0.05	0.013	"
(5)	0.55	0.46	0.05	0.013	"
(6)	0.45	0.75	0.05	0.017	"
合計				0.084	

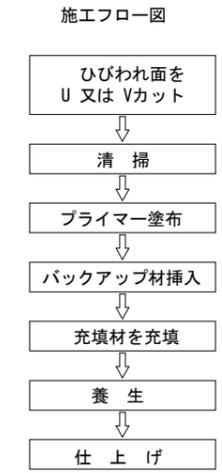
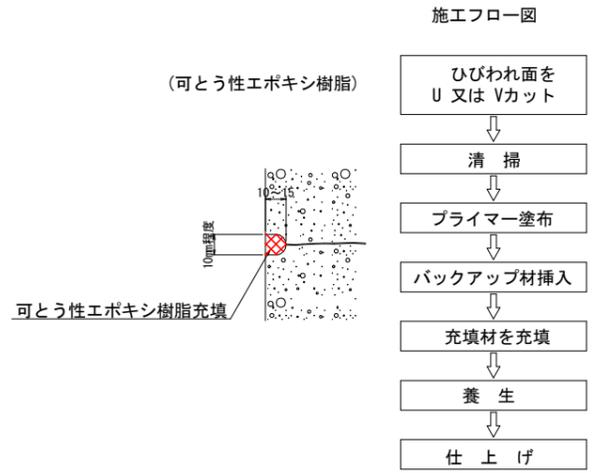
A2橋台 断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.25	0.05	0.004	A2橋台
(2)	0.09	0.27	0.05	0.001	"
(3)	0.30	0.30	0.05	0.002	A2橋台※
(4)	0.29	0.30	0.05	0.002	"
(5)	0.56	0.31	0.05	0.009	A2橋台
(6)	0.50	2.25	0.05	0.056	"
(7)	0.35	0.66	0.05	0.012	"
(8)	0.55	0.95	0.05	0.026	"
(9)	0.40	0.15	0.05	0.003	"
(10)	0.35	0.25	0.05	0.004	"
(11)	0.35	0.20	0.05	0.004	"
(12)	0.30	0.21	0.05	0.003	"
(13)	0.35	0.30	0.05	0.005	"
合計				0.131	

※は、A=幅x長さx1/2

ひび割れ補修工

[充てん工法]



注記)
 ひびわれ深さが深い場合は、注入工法と併用すること。

充填量は下式より算出する。
 $V=0.010 \cdot L / 2 - (0.010 + 0.015) \cdot L - 1200 - 1.20$
 ここに、
 V : 充填量
 1200 : 可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重(kg/m3)
 L : ひびわれ延長
 1.20 : ロス率

- 注記)
1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 2. 充填工法の充填材量は、可とう性エポキシ樹脂系充填材を標準としている。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
 3. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工(充てん工法)

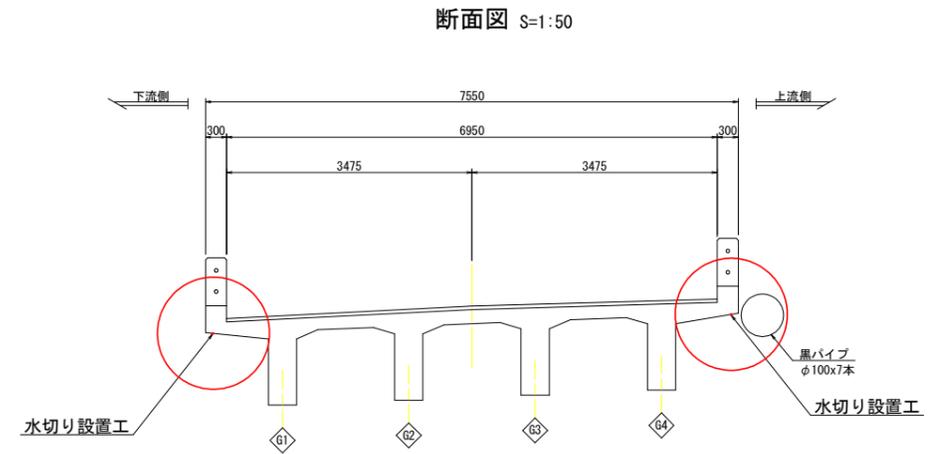
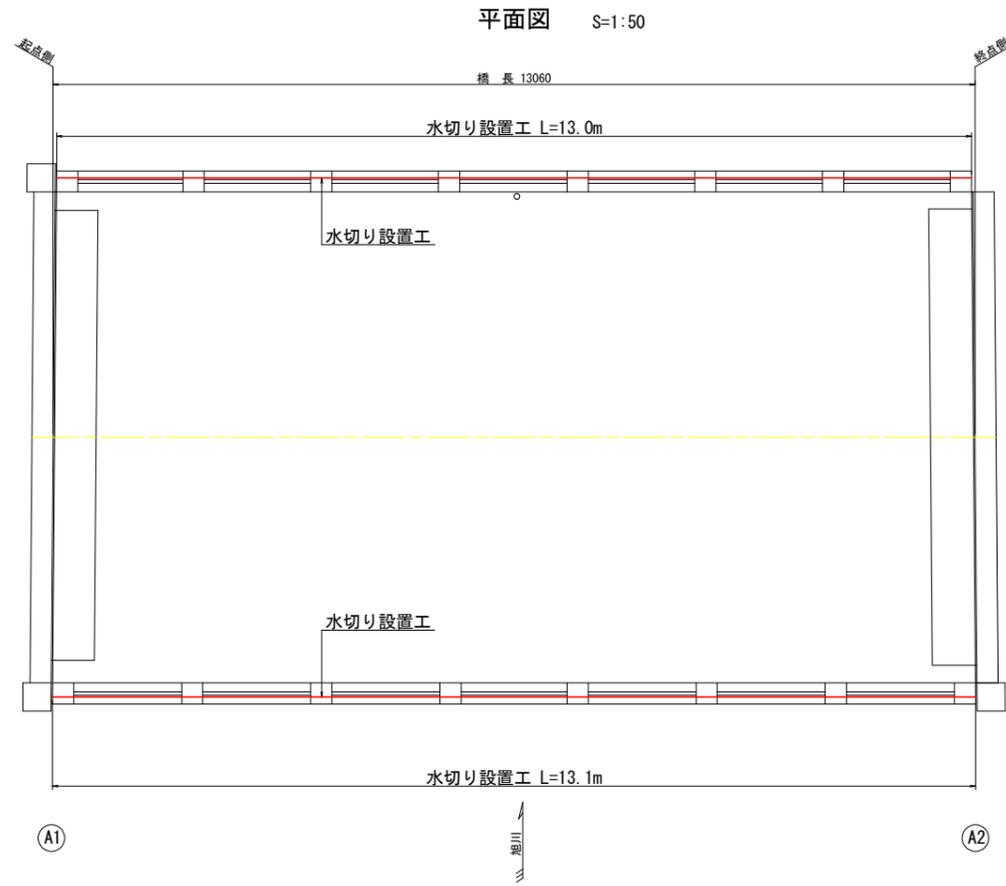
番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	1.5	6.23	0.935	A1橋台
(2)	1.5	0.58	0.087	"
(3)	1.5	3.70	0.555	A2橋台
合計			1.577	

実施設計図面

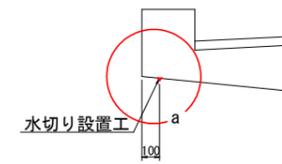
工事名	R6徳土 徳島上那賀線(八重地橋) 上勝・旭橋梁補修工事(担い手確保型)(着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭(八重地橋)		
図面名	八重地橋 補修工詳細図(4/5)		
縮尺	S=1:50	図面番号	5 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

八重地橋 補修工詳細図(5/5)

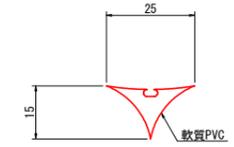
水切り設置工詳細図



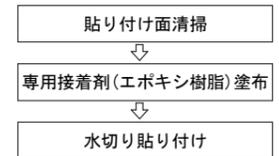
設置位置断面図 S=1:20



水切り詳細図(a部) S=1:1



水切り設置施工フロー



注記)
水切りは上下流共に設置すること。

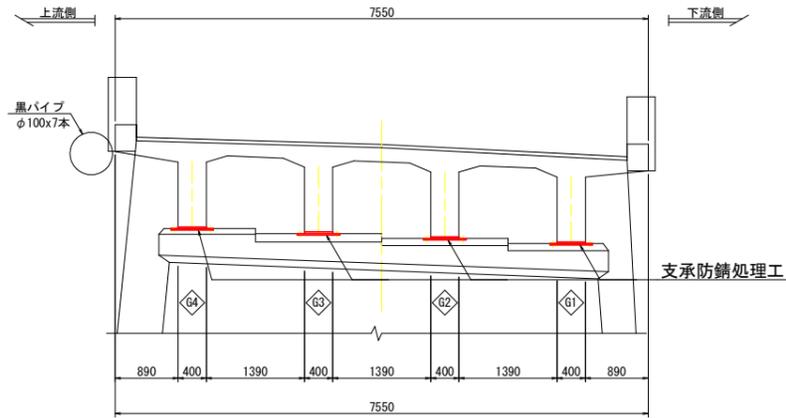
実施設計図面

工事名	R6徳土 徳島上那賀線(八重地橋) 上勝・旭橋梁修繕工事(担い手確保型)(着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭(八重地橋)		
図面名	八重地橋 補修工詳細図(5/5)		
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

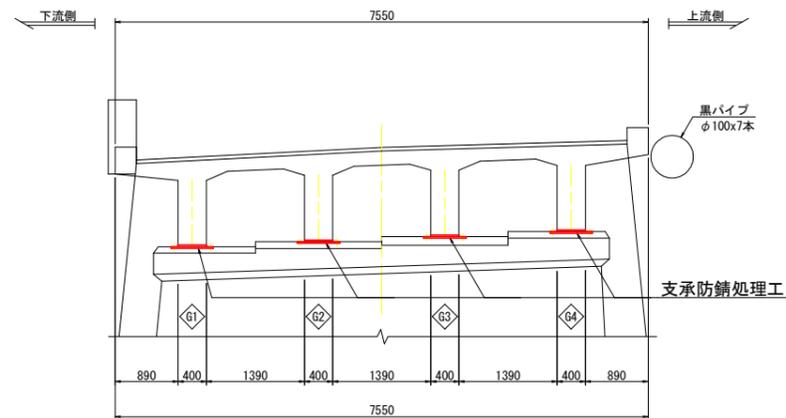
八重地橋 支承防錆処理工詳細図

正面図 S=1:50

A1橋台正面図

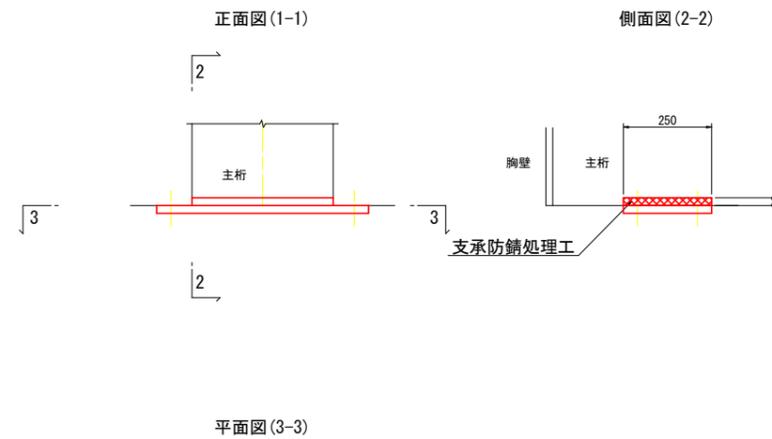


A2橋台正面図

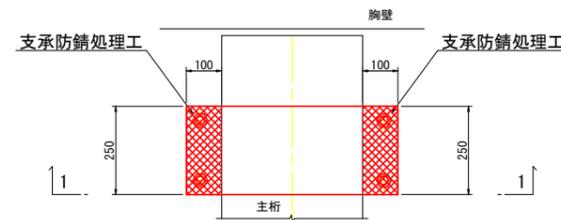
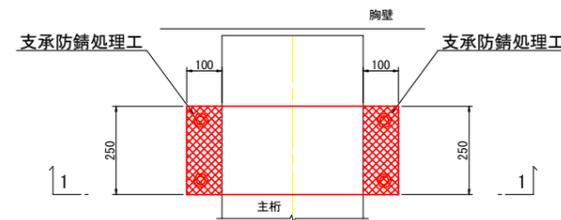
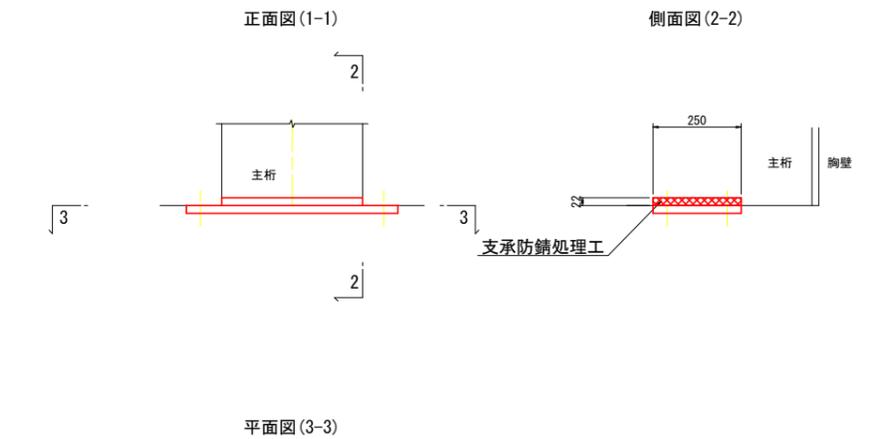


支承防錆処理工詳細図 S=1:10

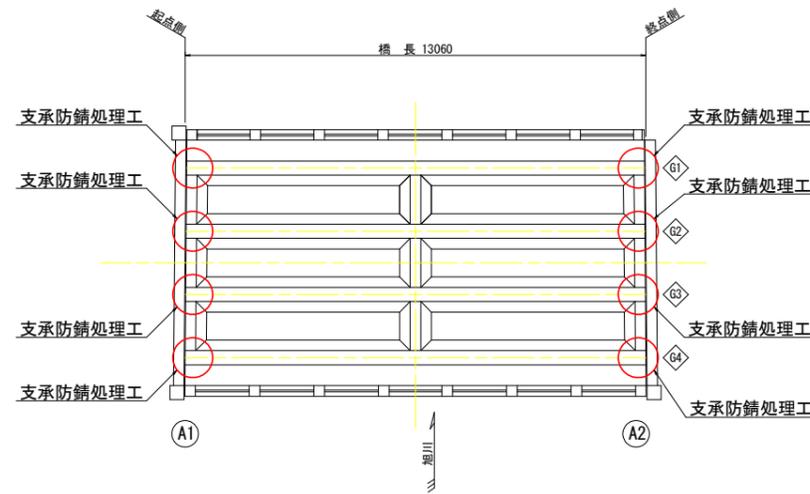
A1橋台支承
支承防錆処理工数量：4基



A2橋台支承
支承防錆処理工数量：4基



位置図 S=1:100



常温亜鉛めっき塗装

工程	塗布量 (g/m ²)	実塗布量 (g/m ² , 本/m ²)			塗膜厚 (μm)	
		ハケ	スプレー	エアゾール	ドライ	ウェット
素地調整		2種				
常温亜鉛めっき 1回目	250	300	325	1.5本	40	75
常温亜鉛めっき 2回目	250	300	325	1.5本	40	75
合計	500	600	650	3.0本	80	150

注記

1. 施工範囲は、支承プレートが露出している部分のみとしているが、施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 施工時は、有効な保護具の着用等を実施する。

実施設計図面

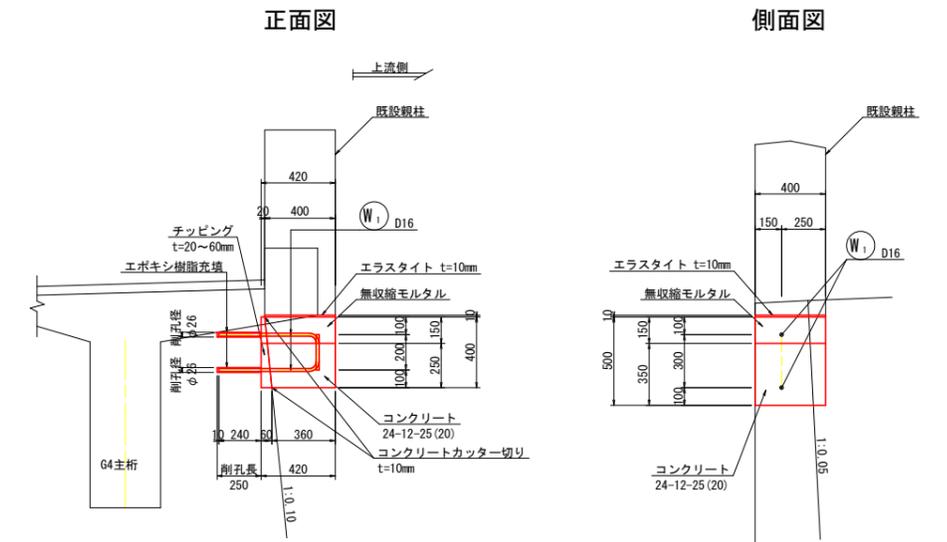
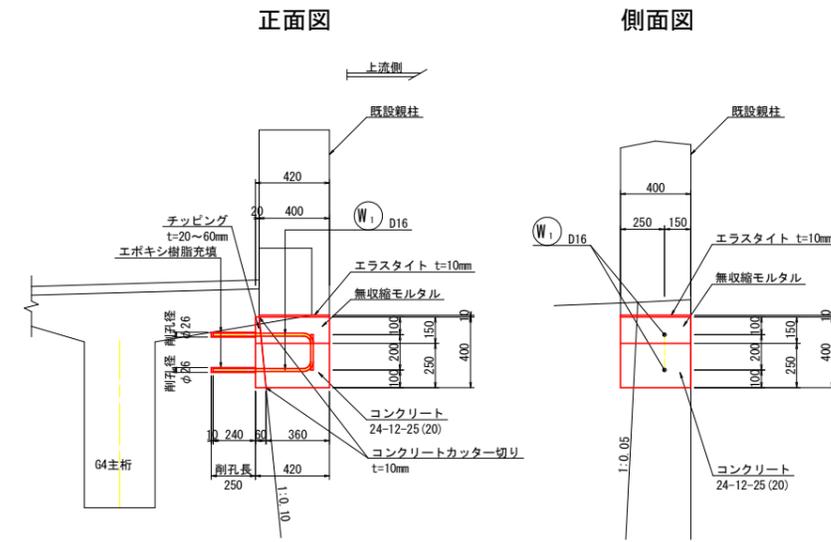
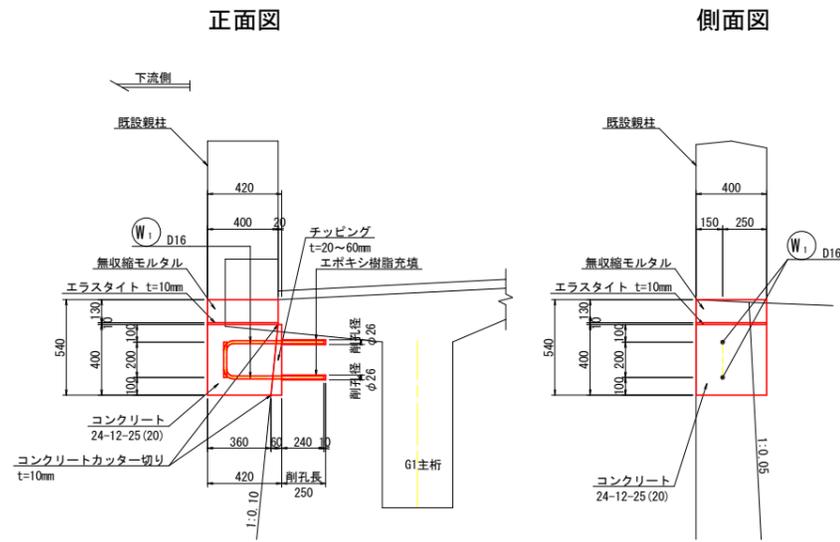
工事名	R6徳島 徳島上那賀線 (八重地橋) 上勝・旭橋梁修繕工事 (担い手確保型) (着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭 (八重地橋)		
図面名	八重地橋 支承防錆処理工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	7 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		

八重地橋 親柱補修工詳細図 S=1:20

A1橋台下流側親柱

A1橋台上流側親柱

A2橋台上流側親柱

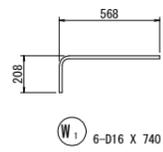


注記) 1. 親柱下面の露出鉄筋は、ケレン-防錆処理を行うこと。

注記) 1. 上流側の地覆側面には、黒パイプが設置されているため、施工時に支障となる場合は、発注者および関係者と協議し対応すること。

注記) 1. A2橋台上流側の親柱は、上流側へ傾いているため、傾きを補正し施工を行うこと。
2. 上流側の地覆側面には、黒パイプが設置されているため、施工時に支障となる場合は、発注者および関係者と協議し対応すること。

加工図



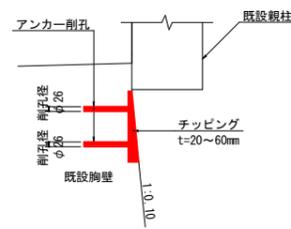
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
W ₁	D16	740	6	1.56	1.15	7	
							3箇所合計
合計 D16						7 kg	
総質量						7 kg	

施工要領図(参考図)

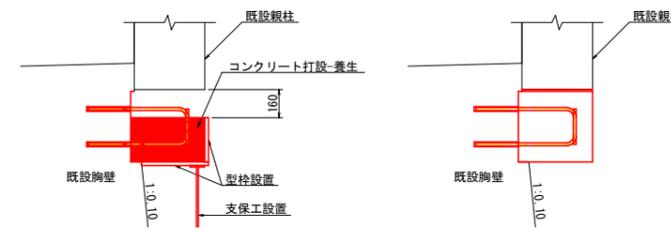
STEP. 1

1. アンカー削孔位置の決定。
2. アンカー削孔。
3. チッピング。



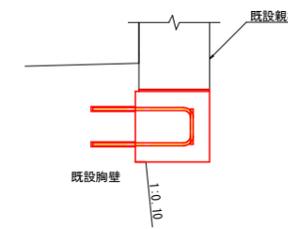
STEP. 3

1. 支保工、型枠設置。
2. コンクリート打設-養生。
3. 支保工撤去、脱型。



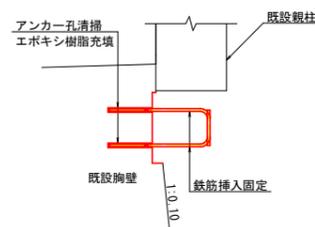
STEP. 5

1. 脱型。



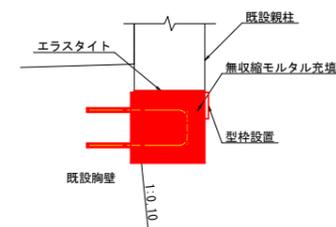
STEP. 2

1. アンカー孔清掃。
2. エポキシ樹脂充填。
3. 鉄筋を挿入固定。

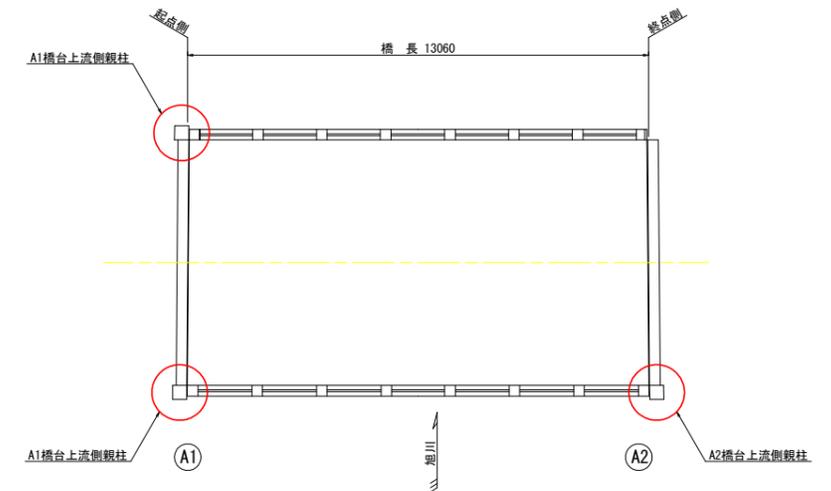


STEP. 4

1. エラストイト設置。
2. 型枠設置。
3. 無収縮モルタル充填、養生。



位置図 S=1:100



注記) 1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

実施設計面

工事名	R6徳土 徳島上那賀線 (八重地橋) 上勝・旭橋梁修繕工事 (担い手確保型) (着手日指定型)		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	勝浦郡上勝町旭 (八重地橋)		
図面名	八重地橋 親柱補修工詳細図		
縮尺	S=1:20	図面番号	8 / 8
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>		